

映像完成台本

論考・資料

財団法人 中日文化研究所 創立 60 周年記念事業

北京の食文化(上映時間・30 分)

【サマリー】

監 修 中国料理研究会 代表 木村春子

企 画 社団法人 中日文化研究所 60 周年記念事業委員会

研究・演出 ばいろん 重森貝崙

後 援 キッコーマン株式会社

岩波映像株式会社

財団法人 アジア・アフリカ文化財団

映像「北京の食文化」は、社団法人(当時)中日文化研究所の創立 60 周年記念事業の一環として制作されました。この映像を嚆矢として「清明上河図」や「乾貨の食文化」など、中日文化研究所において映像が制作されるきっかけとなった記念すべき研究映像です。

「北京の食文化」を映像のテーマとして採りあげたいと考えた理由は、2008 年 8 月 8 日、中国における初めてのオリンピックが北京において開催されることになったからです。生活文化の根幹を形成しているのが〔食文化〕であり、歴史の節目を迎えて、北京の食をとりまく環境も大きく変わろうとしている、と予測して撮影に臨みました。この映像は「同和居飯荘」のような老舗の料理から、庶民が愛好する小吃(軽食)まで幅広く取材し、〔2007 年・北京の食〕の実相をリアルに捉えています。そしてこの完成台本は、映像をより深く、より詳しく理解できることを目的とする論考・資料として作成されました。